

精神障害者訪問家族支援による本人及び 家族一人ひとりのリカバリーに関する効果

現代人間学部 生活環境学科

教授 佐藤 純

研究種目： 基盤研究(C)

研究期間： 2018年度～2021年度

研究分野： 社会福祉学関連

本研究の目的は、精神障害者の家族支援のひとつである英国メリデン版訪問家族支援が、精神障害者本人および同居家族のリカバリーに及ぼす効果を明らかにすることである。

この家族支援は訪問によって行われ、精神障害者本人のみならず、同居する家族である親、配偶者、きょうだい、子どもなど家族一人ひとりをも対象とするところに大きな特徴がある。この家族支援は本人の精神疾患の再発予防などの効果がすでに海外では確認されているがそれらに加え、本人そして家族ひとりひとりのリカバリー、つまりたとえ精神疾患や「障害」があっても本人や家族ひとりひとりが意義ある自分自身の人生の回復にどのような影響を及ぼすのかについて検討していく。ひいては、それらの研究結果から本人と家族それぞれの立場に求められる支援のあり方についてもあわせて検討をする。



おもな論文・研究発表

1 「解説 メリデン版訪問家族支援の原則・目的・特徴」ほか、『精神看護 特集 メリデン版訪問家族支援！』、2019年 7月号、医学書院

2 「メリデン版訪問家族支援とは何か——現場でどのように実践され、生きるものなのか」ほか、『訪問看護と介護 特集 メリデン版訪問家族支援に注目！ 本人と家族をまるごと支援すると、こんな変化が生まれます』、2018年 11月号 医学書院

3 「日本の精神保健福祉領域における家族支援の現状と課題」、『精神保健福祉 特集 ケアラー支援：新たな家族支援のあり方を考える』117号、2019年4月

京都ノートルダム女子大学
研究・情報推進課

電話：075(706)3789

FAX：075(706)3793

電子メール：kenkyu@notredame.ac.jp

メリデン版訪問家族支援

イギリス生まれ、世界中で普及している技術です

英国バーミンガムのMeriden Family Programmeという家族支援技術の研究・研修機関が進めている行動療法的家族療法です。Meridenとは英国の地方の名前です。研修を受講した方は英国を中心に世界に5,000名以上いる世界で最も普及している訪問家族支援の技術のひとつといえます。

訪問によって本人と家族をまるごと支援します

訪問看護、相談支援、行政などさまざまな機関から行われる訪問支援の場に提供されます。数ヶ月、場合によっては1年くらいかけて、主に自宅で本人と家族が支援者とともに話し合い、学び合います。家族全員の参加が望ましいとされていますが、希望する家族だけで始めることができます。

「支援者ぬぎで」がゴールです

病気の症状の対処や家族内での困りごとなどが支援者ぬぎでもできるようになっていくことを目指します。同時に本人や家族1人ひとりの自分自身の目標や希望がかなえていけるよう支援されます。

ファミリーワーク (Family Work)とは？

再発率低下のエビデンスがあります

精神疾患の再発率(%)

開始9ヶ月	その後2年後
4.4	6.83

通常の外来受診のみ
Family Work 受講者

病気のことを話し合っていくうちに、本人、家族の精神疾患の理解が進むようです。「再発のサインを確認していくうちにいるいる病状が自分と関係あると気づいた(本人)」「本人の病気のことを本人の目線で理解できるようになった(家族)」といった声が聞かれます。

家族間のコミュニケーションが円滑に

「本人や家族との会話が増え、以前よりお互いの考えていることや思っていることが分かるようになりました。」「参加していない家族とも会話が増えました。」「お互いに嫌なことを言わなくなりました。」「会話が増え、互いを思いやる気持ちが増えていきました。」「

家族で話し合って解決することが増えていきます

病気のことだけでなくさまざまなことを家族で話し合って解決していくことが増えます。「家族と週1回話し合う場が助けになる。」「家がリラックスできるようになった(本人)」「どうしたら幻聴にうまく対応できるか本人と家族が知恵を出し合っ話そうようになった(家族)」といった体験談が寄せられています。

Meriden International Award 受賞
(2017年6月)